

② 富山北部

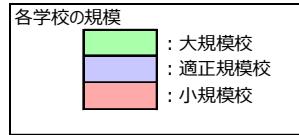
図 II-45 学級数・児童生徒数

小学校名 (6校)	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	学級数	児童数												
岩瀬	1	13	1	14	1	17	1	18	1	34	1	10	6	106
針原	1	23	1	23	1	18	1	20	1	19	1	31	6	134
浜黒崎	1	11	1	15	1	19	1	13	1	18	1	15	6	91
大広田	2	56	2	54	2	63	2	63	2	57	2	55	12	348
豊田	4	120	4	142	4	132	4	140	3	117	4	134	23	785
萩浦	2	49	2	42	2	49	2	41	2	46	2	45	12	272

※学級数は通常級のみ。児童数は人数であり、特支級の人数を含む。

中学校名 (2校)	1年生		2年生		3年生		合計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
北部	4	136	4	162	5	176	13	474
岩瀬	4	143	3	105	3	101	10	349

※学級数は通常級のみ。生徒数は人数であり、特支級の人数を含む。



出典：「富山市の教育」（富山市教育委員会、令和3年9月）

図 II-46 小学校児童数推移



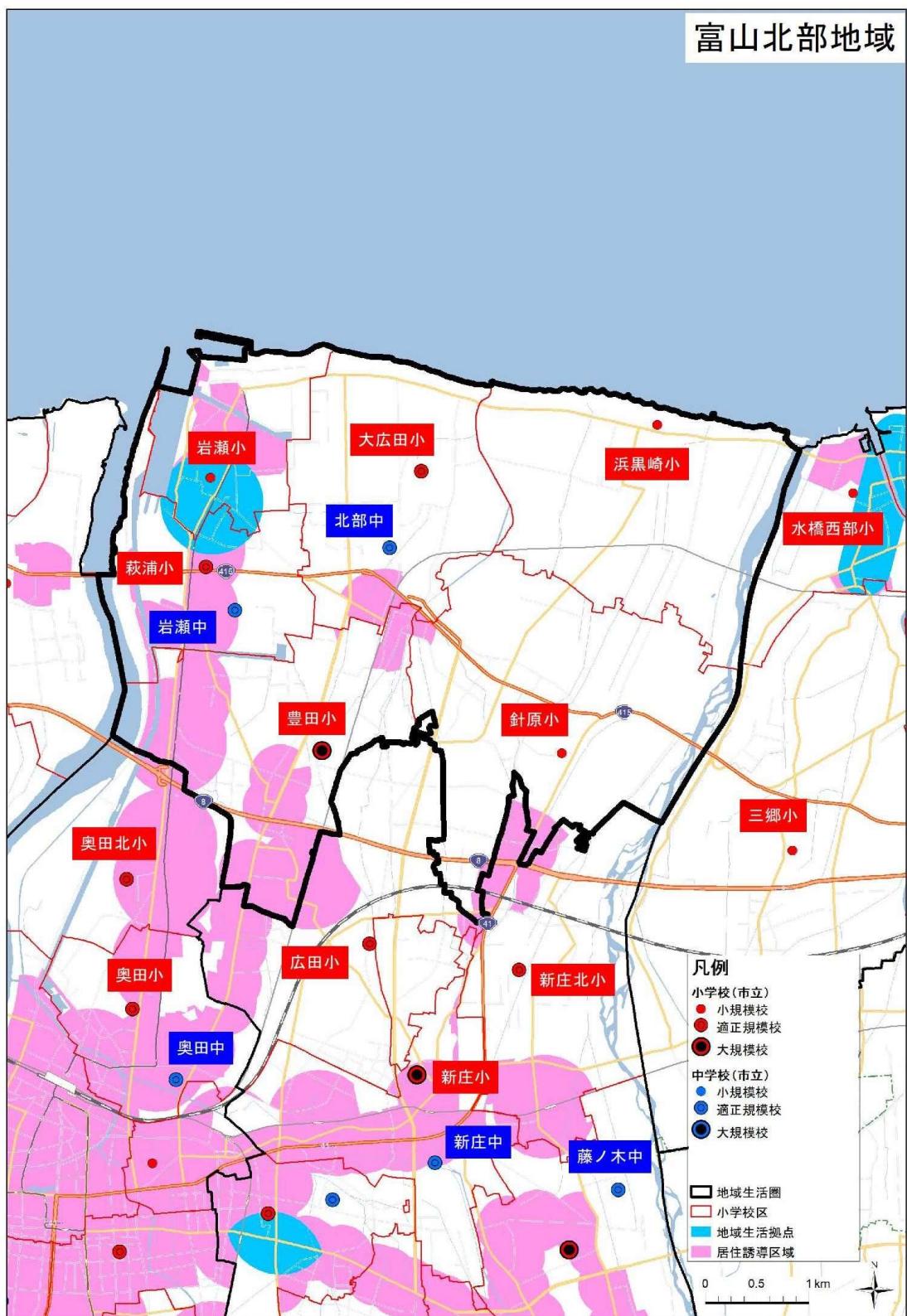
出典：昭和55年度～平成12年度：各学校沿革史（富山市）、平成17年度～令和2年度：「富山市の教育」（富山市教育委員会、平成17年9月～令和2年9月）、令和7年度～令和22年度：令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコホート変化率法による推計

図 II-47 中学校生徒数推移



出典：昭和55年度～平成12年度：各学校沿革史（富山市）、平成17年度～令和2年度：「富山市の教育」（富山市教育委員会、平成17年9月～令和2年9月）、令和7年度～令和22年度：令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコホート変化率法による推計

図 II-48 学校位置図



※学校規模は令和3年5月1日時点

再編する学校の姿

再編する学校の姿

再編の組み合わせ

再編対象校

●岩瀬小学校【岩瀬中】

児童生徒数：106人

学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級))



再編対象校と組み合わせる学校

●萩浦小学校【岩瀬中】

児童生徒数：272人

学級数：12学級(適正規模校)

再編先学校

現 萩浦小学校【岩瀬中】

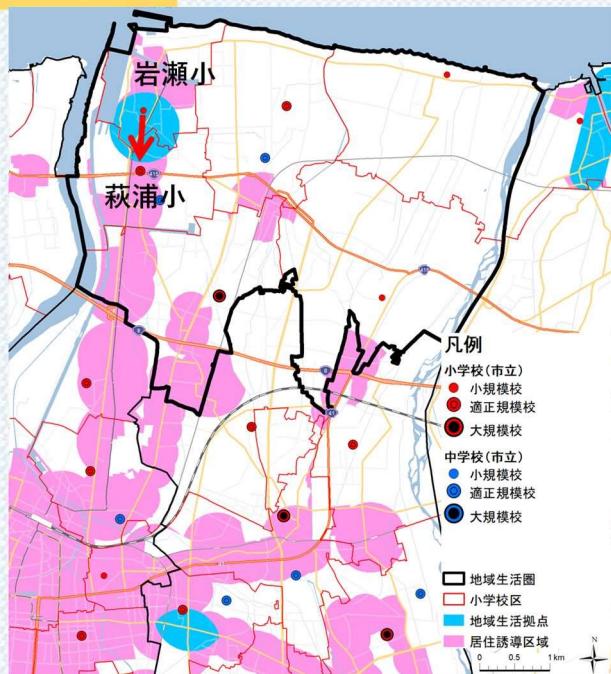
※〔 〕内は進学先中学校

※〔 〕内は学校規模

※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4（1）、（3）及び（4）に基づく

※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

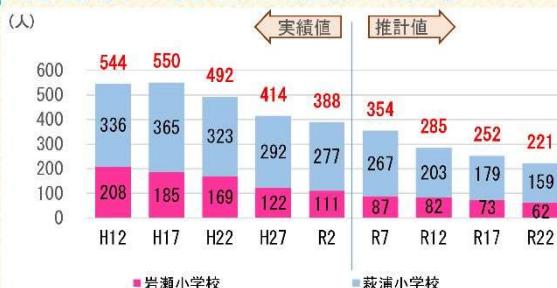
該当する地域生活圏及び小学校区



本計画	No. 4
再編原案	富山北部－1

再編後の概況

再編後の児童生徒数の推移



※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数

※赤文字は児童生徒数の合計

※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数

※令和7年以降はコホート変化率法に基づく推計児童生徒数

再編後の通学距離



※現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の学校規模（学級数）



【適正規模】：学級数が12学級以上18学級以下

【大規模】：学級数が19学級以上

【小規模】：学級数が11学級以下

※コホート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の教室充足状況



【充足】：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
【不足】：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。

※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
※コホート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模改造済	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎 (建築年数43年)	○	A	B	A	A	A
体育館 (建築年数31年)	-	B	B	B	B	B

A : 概ね良好

B : 部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）

C : 広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）

D : 早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）

※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所

（洪水時には2階以上に避難すべき緊急避難場所）

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。

【学校規模】令和7、12、17年は適正規模校となるが、令和22年は小規模校となる。

【必要教室数】教室数は充足している。

【施設健全度】概ね良好である。

【周辺状況】居住誘導区域（立地適正化計画）内に位置する。

再編する学校の姿

再編する学校の姿

再編の組み合わせ

再編対象校

●針原小学校【新庄中、北部中】

児童生徒数：134人

学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級))

●浜黒崎小学校【北部中】

児童生徒数：91人

学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級))



再編対象校と組み合わせる学校

●大広田小学校【北部中】

児童生徒数：348人

学級数：12学級(適正規模校)

再編先学校

現 大広田小学校【新庄中、北部中】

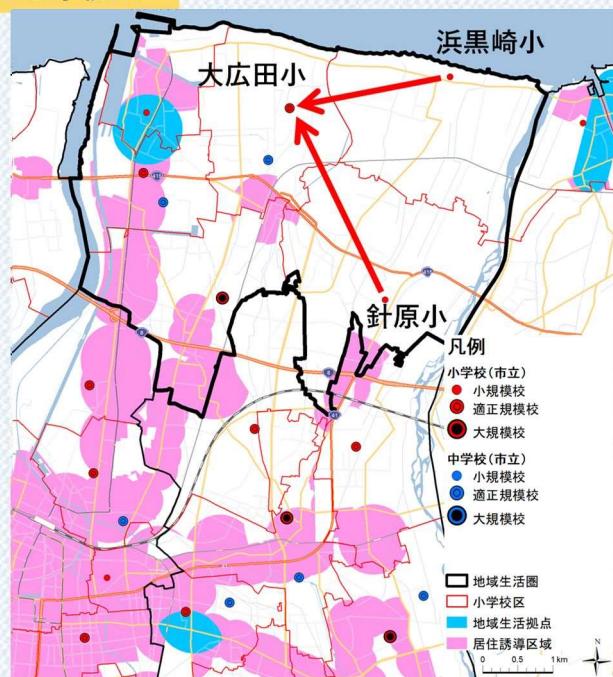
※〔 〕内は進学先中学校

※〔 〕内は学校規模

※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4（1）、（3）及び（4）に基づく

※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

該当する地域生活圏及び小学校区



本計画	No. 5
再編原案	富山北部－2

再編後の概況

再編後の児童生徒数の推移



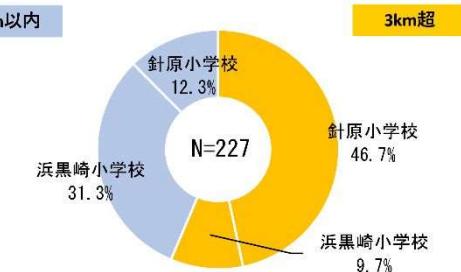
※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数

※赤文字は児童生徒数の合計

※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数

※令和7年以降はコーポート変化率法に基づく推計児童生徒数

再編後の通学距離



※現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の学校規模(学級数)



適正規模：学級数が12学級以上18学級以下

大規模：学級数が19学級以上

小規模：学級数が11学級以下

※コーポート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出

※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。

※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
※コーポート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模改造済	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎 (建築年数16年)	-	A	A	A	A	A
体育館 (建築年数16年)	-	A	A	A	A	A

A : 概ね良好

B : 部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）

C : 広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）

D : 早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）

※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所

(洪水時には1階以上に避難すべき緊急避難場所)

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。

【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても適正規模校となる。

【必要教室数】教室数は充足している。

【施設健全度】良好である。

【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域（立地適正化計画）外に位置する。

【その他】針原小学校の一部が新庄中学校へ進学する。

再編する学校の姿

再編する学校の姿

再編の組み合わせ

再編対象校

●針原小学校〔新庄中〕
 (新庄北小校区に通学区域を変更)
 児童生徒数：29人
 学級数：-学級



再編対象校と組み合わせる学校

●新庄北小学校〔新庄中〕
 児童生徒数：557人
 学級数：18学級(適正規模校)

再編先学校

現 新庄北小学校〔新庄中〕

※〔 〕内は進学先中学校

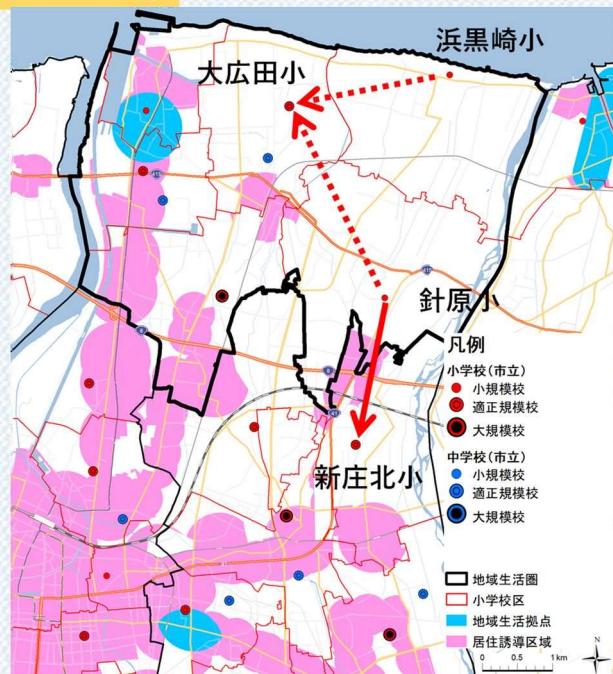
※()内は学校規模

※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4（1）、（3）及び（4）に基づく。

※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数、〔富山市の教育〕

※針原小学校(新庄北小校区に通学区域を変更)については、令和3年8月時点の住民基本台帳に基づき算出。学級数は不要であるため、割り出していない。

該当する地域生活圏及び小学校区



本計画	No. 6
再編原案	富山北部－3(1)

再編後の概況

再編後の児童生徒数の推移



※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数

※赤文字は児童生徒数の合計

※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数

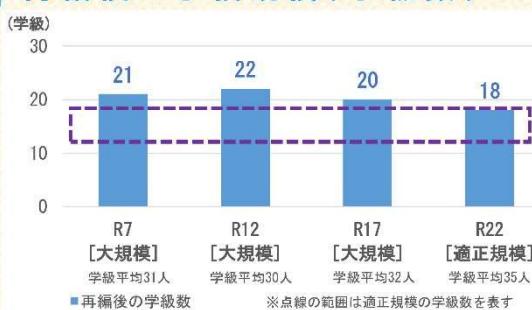
※令和7年以降はコーポート変化率法に基づく推計児童生徒数

再編後の通学距離



※現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の学校規模（学級数）



適正規模：学級数が12学級以上18学級以下

大規模：学級数が19学級以上

小規模：学級数が11学級以下

※コーポート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出

※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。

※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数

※コーポート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模改造済	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎1 (建築年数12年)	-	A	A	A	A	A
校舎2 (建築年数12年)	-	A	A	A	A	A
体育館 (建築年数12年)	-	A	A	A	A	A

A : 概ね良好

B : 部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）

C : 広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）

D : 早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）

※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所

（洪水時には2階以上に避難すべき緊急避難場所）

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

【通学距離】3kmを超える児童生徒は存在しない。

【学校規模】令和7、12、17年は大規模校となるが、その後令和22年は適正規模校となる。

【必要教室数】教室数は充足している。

【施設健全度】良好である。

【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域（立地適正化計画）外に位置する。

再編する学校の姿

再編する学校の姿

再編の組み合わせ

再編対象校

●針原小学校〔北部中〕
 (大広田小校区に通学区域を変更)
 児童生徒数：105人
 学級数：-学級

●浜黒崎小学校〔北部中〕
 児童生徒数：91人
 学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級))



再編対象校と組み合わせる学校

●大広田小学校〔北部中〕
 児童生徒数：348人
 学級数：12学級(適正規模校)

再編先学校

現 大広田小学校〔北部中〕

※〔 〕内は進学先中学校

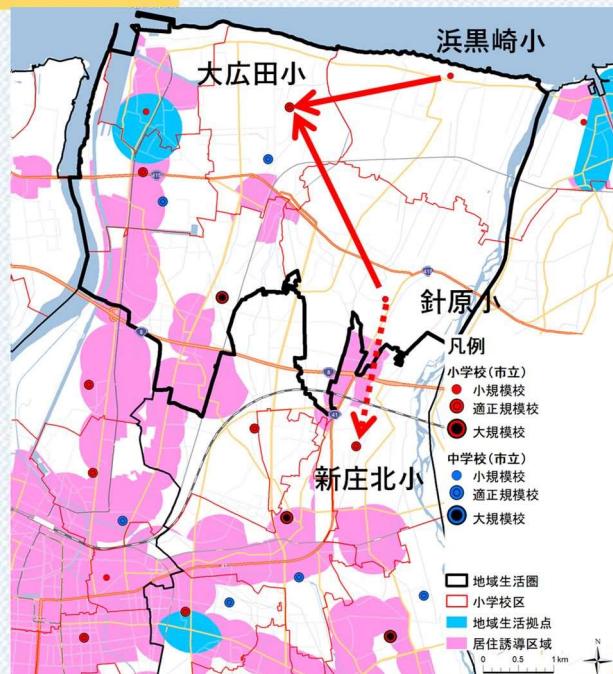
※()内は学校規模

※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4（1）、（3）及び（4）に基づく。

※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数。〔富山市の教育〕

※針原小学校(大広田小校区に通学区域を変更)については、令和3年8月時点の住民基本台帳に基づき算出。学級数は不要であるため、割り出していない。

該当する地域生活圏及び小学校区



※学校規模はR3.5.1時点

本計画	No. 7
再編原案	富山北部－3(2)

再編後の概況

再編後の児童生徒数の推移



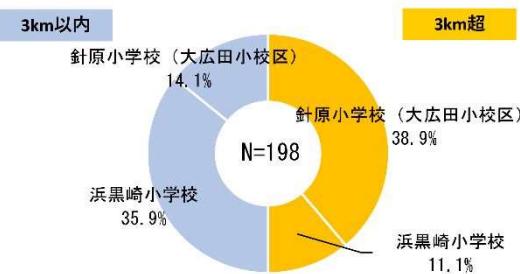
※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数

※赤文字は児童生徒数の合計

※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数

※令和7年以降はコホート変化率法に基づく推計児童生徒数

再編後の通学距離



※現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の学校規模（学級数）



適正規模：学級数が12学級以上18学級以下

大規模：学級数が19学級以上

小規模：学級数が11学級以下

※コホート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出

※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。

※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数

※コホート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎 (建築年数16年)	-	A	A	A	A	A
体育館 (建築年数16年)	-	A	A	A	A	A

A : 概ね良好

B : 部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）

C : 広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）

D : 早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）

※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所

（洪水時には1階以上に避難すべき緊急避難場所）

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。

【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても適正規模校となる。

【必要教室数】教室数は充足している。

【施設健全度】良好である。

【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域（立地適正化計画）外に位置する。